

10. 小腸がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
			開腹手術	腹腔鏡 下手術			治療内容		治療実績	医師の 専門 分野	
1 消化器外科	9	4	状況	○	○	○	肝転移や肺転移も積極的に切除することにより生存率の向上を目指しています。	ア http:// イ http://www.ntt-west.co.jp/osaka-hosp/gairai/do	掲載なし	掲載なし	掲載なし
			実績	あり	あり	あり			なし	掲載なし	掲載なし
2 消化器内科	6	4	状況	×	×	○	小腸全てを観察と治療が可能な新型内視鏡を導入し、小腸がんを始めとした多くの病気を発見し適切な治療に努め、患者さんに貢献しています。また、内服したカプセルにより小腸検査を行うカプセル内視鏡も導入しております。	ア http://www.ntt-west.co.jp/osaka-hosp/gairai/sh イ http://www.ntt-west.co.jp/osaka-hosp/gairai/do	掲載あり	掲載なし	掲載なし
			実績	なし	なし	あり			なし	掲載なし	掲載なし
3 放射線治療科	2	2	状況	×	×	×	2007年4月から、常勤の治療専門医が診療を行う独立科に改組し、定位照射、強度変調照射、イメージガイド照射などの高精度放射線治療が可能になりました。また、外科、内科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、整形外科などに、がん治療のエキスパートが多く、当該診	ア http://www.ntt-west.co.jp/osaka-hosp/gairai/sh イ http://www.ntt-west.co.jp/osaka-hosp/gairai/do	掲載あり	掲載なし	掲載なし
			実績	なし	なし	なし			あり	掲載なし	掲載なし
4			状況					ア http:// イ http://			
			実績								
5			状況					ア http:// イ http://			
			実績								

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:乳頭部がん、十二指腸がん
	十二指腸がん、小腸がん、など